

KEEP ON T, R, Y

社長の今月お伝えしたいこと

VOL57

2022年2月

Sustainable Development Goals

Goal 15

「SDGs」 Sustainable Development Goals。

持続可能な開発目標が、現在、多くの学校や職場で取り組まれています。

私たちもまた、この目標に向け、取り組む時期が来ています。

SDGsは17項目ありますが、私たちの仕事はその中の何にあたるのでしょうか。

例えば、窓を断熱窓に取り替えれば、お部屋の断熱化が進み、省エネの成果が表れます。

その結果、二酸化炭素が減少し、環境保護につながります。

また、断熱化された快適な室内環境は疾患などの病気を改善します。

快適な睡眠環境を整えることにより、健康を提供することもできます。

理由づけといえばそれまでですが、なんとなく仕事をするのではなく、

この仕事は何につながるのか、その結果、お客様に何をご提供できるのか。

そんなことを考えながら、仕事をしたほうがいい。

SDGsは、働くことへの「意識」改革ではないかと思うのです。

昨年から配信しています youtube も 100 本を越え、登録者数も増えました。

「よくネタが続くね」といわれます。

ネタはどこにあるか。ネタはいつも、お客様とお話する会話の中にあります。

私たちが業界的にアタリマエなことを、お客様がご存じないこともあれば、

逆に、私たちが「なるほど」と考えさせられる発想も、お客様との会話の中にはあります。

それを聞き流すのではなく、一緒に考えていく。

そんな姿勢を持ち続けたいと思っています。

高尚なことはできません。飛びぬけてオシャレでスマートなことでもできないかもしれません。

しかし、ひとつずつ実直に問題と向き合う多彩姿勢に、私たちは自分の「使命」を見つけていきます。

2022年もよろしくお願いいたします。

新商品とは？

6月発売のシャワートイレの話です。

メーカー調査によると、新しい便座をご購入された約6割のかたが「もっとたっぷりのお湯で洗いたい」という不満があったそうです。

実は省エネ法の改正により、10年以上前の便座と比較すると、おしり洗浄の吐水量は半分以上まで減少しています。そのため便座交換されたかたは、その違いが不満につながっているそうです。

そのため、6月発売のLIXIL便座では「おしりターボ洗浄」なる機能を搭載し、10年以上前の便座と同等の洗い心地を実現します。

このニュースを聞いたとき、新商品とはどうあるべきかと考えさせられました。

省エネ節水は環境問題を考えるのに必須です。

しかし、使用する人にとってはどうなのでしょう。

新商品は、今ある悩みを解決し、打ち出される商品ですがオールOKではないということです。

「おしりターボ機能」も、通常は現在の吐水量を保ちながら、機能ボタンにより、その問題を解決していきます。

これからの新商品は、守るべきものを遵守しながらも、お客様の好みを選べる時代になってきました。



雪下ろしの目安

今冬は各地で大雪の被害が多く出ました。

関が原・米原そして彦根では、カーポートの積雪被害が多く出ています。

これはyoutubeでもお話したことなのですが

カーポートの耐積雪量は新雪を想定しています。

雪には、新雪、締雪(しまりゆき)、粗目雪(ざらめゆき)があり、粗目雪は新雪の3倍以上の重さとなります。

そのため、カーポート積雪が20センチの場合でも、粗目雪の場合は8センチで雪を下ろす必要があります。

本来、補助サポートがあれば積雪量を超える雪にも耐えることができるのですが

今冬は、その補助サポートですら折れてしまうケースが多く発生していました。

カーポートについては雪だけでなく、年々増加する台風に対し、耐風圧性も重視されています。

岐阜県の最大瞬間風速は42km/秒といわれています。

私としては三協立山の「スカイリードZ」をお勧めします。

耐風圧強度46m/s、積雪量50センチ。

暗くなりがちカーポートには、採光性を取りながら、災害時に強いタイプをお勧めします。



実感年齢でいきましょう

実は私、矢沢永吉ファン歴40年です。16歳からブれることなく、ずっと追いつけてます。

今までお会いした方から、何十回何百回と聞かれました。「なぜ好きなんですか？」

敢えていうなら、挑戦し続ける姿勢です。

矢沢永吉は72歳。昨年のツアーは計31回。毎回2時間半ステージを走り、聴かせる。

私の55年間の思い出の中には彼の楽曲があります。そんな矢沢永吉がCMでいうコトバ。

「齢をくうってことは魂が老けることじゃない」

人生100年時代。永ちゃんが走ってる。まだまだやれる。まだまだがんばれる。

普遍的な時代の中、自分が納得するかしないかが、これからの生きかたになると思いますね。

